

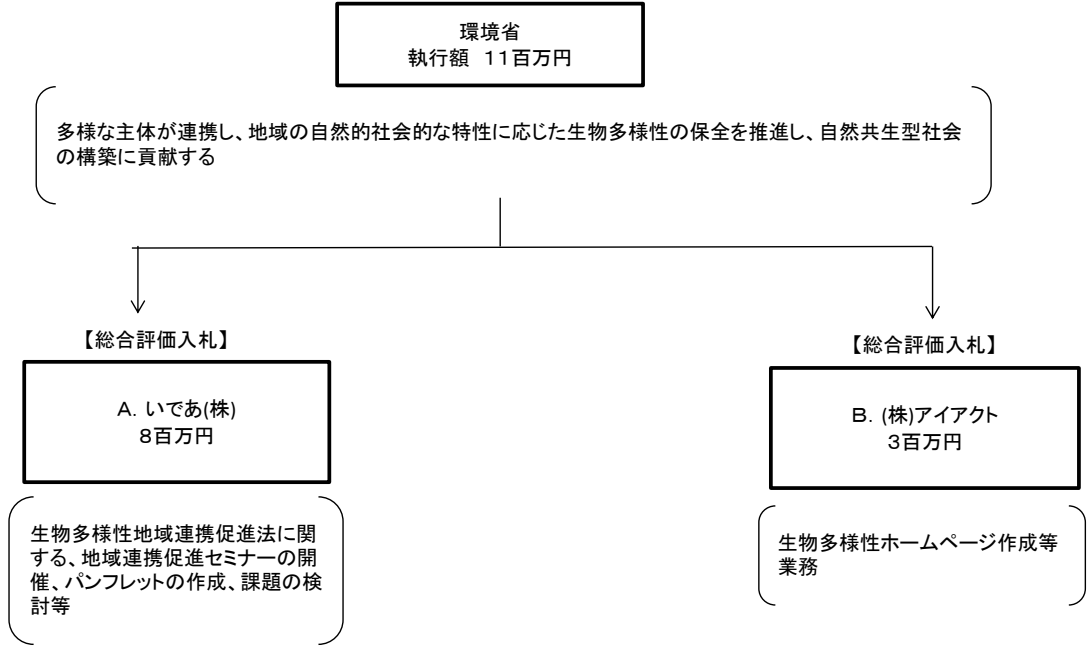
平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	地域連携保全活動推進費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～		担当課室	生物多様性施策推進室		室長 堀上 勝	
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-1 基盤的施策の実施及び国際的取組			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	■生物多様性地域連携促進法 第5条 地域連携保全活動協議会 第13条 地域連携保全活動支援センター 第14条 国等の援助等		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各地域において、生物多様性の保全の取組を行うための体制づくりや、関係主体間の連携・協力のあっせん等を行う体制整備を支援することにより、多様な主体が連携し、地域の自然的社会的な特性に応じた生物多様性の保全を推進し、自然共生型社会の構築に貢献する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域における生物多様性の保全のための活動を促進するため、 ①活動のための体制整備が不十分な地域において、地域の特性に応じた活動を行うための情報の充実や理解の向上を図り、生物多様性地域連携促進法に基づく地域連携保全活動協議会の設立への気運醸成・支援を図る。 ②多様な地域・空間で取り組まれている活動や、多様な主体との連携により地域の活性化につながっている活動の優良事例、協議会や支援センターの活動に関連する情報を収集・分析して全国へ発信する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	-	-	14	-	-
		補正予算	-	-	0	-	-
		繰越し等	-	-	0	-	-
	計	-	-	14	-	-	
	執行額	-	-	11	-	-	
執行率 (%)	-	-	79%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)
	地域連携保全活動協議会設置箇所数		成果実績 箇所	-	-	7	14
			達成度 %	-	-	50%	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	地域連携促進セミナー開催箇所数		活動実績 (当初見込み) 箇所	- (-)	- (-)	3 (3)	- (0)
単位当たりコスト	2.7(百万円/1箇所)		算出根拠	生物多様性地域連携保全活動促進業務(8百万円)÷地域連携促進セミナー開催箇所数			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	前年度限りの経費	-	-				
	計	-	-				

事業所管部局による点検

項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	平成23年10月に施行された新法に基づく、地域連携保全活動計画の作成や地域連携保全活動協議会の設置については地方自治体が主体となるものの、その作成や設置に向けた気運醸成や情報提供などは国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	・支出先の選定は、総合評価入札方式により行い、審査委員会において業務の実施体制・方法・計画等について評価している。 ・ホームページの作成業務について、予定価格よりも大幅に低額で落札したため、不用率が大きくなった。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	・地域連携促進セミナーの開催により、各地域における多様な主体の連携促進に貢献した。 ・作成したHPについては、平成25年5月より公開する予定。また、作成したパンフレットについては、平成25年6月に印刷し、関係者に配布する予定。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-			
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名	
点検結果	<p>・地域連携促進セミナーの開催により、各地域において生物多様性保全の取組の気運が醸成されつつあり、生物多様性地域連携促進法に基づく地域連携保全活動の促進に効果的であった。</p> <p>・平成25年度以降は、地域連携促進セミナーについては、「国連生物多様性の10年」推進事業による生物多様性地域セミナーと一体で開催することとした。</p>				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	新24-030	平成24年	新24-008

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.いであ(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	地域セミナー企画・運営、パンフレット・ウェブ サイト作成	4.4			
一般管理費		1.0			
旅費	セミナー等旅費	0.8			
諸謝金	セミナー講習者への謝金等	0.6			
借損料	会場利用料等	0.6			
その他	印刷製本費、消耗品費、消費税および地方 消費税等	0.6			
計		8	計		0
B.(株)アイアクト			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	ウェブサイト制作、管理、更新	3.3			
一般管理費		0.2			
その他	印刷製本費、消費税および地方消費税	0.3			
	受注者負担分	▲0.4			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	生物多様性地域連携保全活動促進業務	8	1	97.7%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アイアクト	生物多様性ホームページ作成等業務	3	4	67.0%